

# 幼 児 の 性 的 行 動

## (1) 保 母 の 眼 を 通 し て

池 田 政 子

幼児のセクシャリティ (sexuality) に関する資料の乏しいこと、それが「性」に対するタブー視、特に幼児と結びついた場合のタブー視に起因することは既に指摘した。<sup>3)</sup> いわゆる「性の解放」が進み、人間のセクシャリティについての研究も多いアメリカ合衆国でもこの事情はさほど変わらないようである。Goldman, R. と Goldman, J. は、「セクシャリティに関しては、児童期 (乳児期から思春期の開始までを含む: 筆者注) は青年期よりもずっと強い社会的タブーにさらされて」おり、Freud, S. の理論以来、心理学者は子どものセクシャリティに関心を寄せ、子どもの発達理解の鍵となる領域であるという認識も次第に高まってはいるが、心理学者自身がタブーから自由でないと指摘している。その例として、アメリカン・サイコロジスト誌が国際児童年を記念して出した『心理学と子ども—最近の研究動向と実践』(1979) と題する特別号にも、子どもの正常な性的発達に関する研究が見あたらないことが挙げられている。<sup>4)</sup>

このような状況の中で、保育現場の幼稚園教諭・保母、一般の母親を対象とした保育雑誌に、「性の指導」が初めて取り上げられたことは画期的なことと言えよう。<sup>5)</sup> 「幼児期の性教育」、「性の質問への答え方・性的問題への対処法」、「実践記録 赤ちゃん誕生一手づくり教材を使って」、「スウェーデンの幼児の性教育」などの記事が並んでおり、出版社には、保育者以外にも母親や学生など多くの読者から反響があったとの事である。<sup>6)</sup> 筆者は「性教育絵本」登場の背景に、幼児の性的言動への

対処に関するおとなの側の潜在的要請がある事を指摘した。<sup>7)</sup> その後も性教育絵本・マンガの出版は増え続け、親たちに向けた性教育の本にも幼児期を明確な対象としてうたったものが現れ、版を重ねている。<sup>8)</sup> 1984年には新宿区教育委員会が幼児教育の現場の教師を対象とした性教育の手引書を全国に先駆けて発行して、幼稚園での年間カリキュラムに性教育を組み込むという主張を明確にし、1987年にはその続編を出している。また東京都教育委員会も、公教育における性教育の場を幼稚園にまで拡大する立場を表明する冊子を1987年に発行した。<sup>9)</sup> これらは教師という「専門家」を対象としたものであるが、母子保健事業団は1985年に家庭での性教育のために、幼児期から小学校高学年までの性的質問・行動への対応に関する手引書を発行している。そして、広範な定期購読層を持つ保育雑誌への性教育の登場は、現実的要請がタブーを相対化しつつある事実を象徴する現象と位置づけられよう。

### §. 1. 目的および方法

本報告では、乳幼児のセクシャリティの一側面としての顕在的行動について、前々報<sup>3)</sup>および前報<sup>4)</sup>に概要を示した一連の調査によって保母より収集された資料を、以下の観点から検討する。

- 1) 幼児が集団生活をする保育現場で、どのような行動がどのような場面で観察されるか。

\* 執筆者のひとり、松原要子氏よりの私信による。

\*\* アーニ出版の萩原明氏によれば、『ひらかれた性教育 1 3歳から9歳まで』<sup>5)</sup>は、1981年12月の初版から1986年5月の第4刷まで14,000部を発行している。

- 2) それらに性差が見られるか。
- 3) 発達の差異はどうか。
- 4) 保母はどう対応しているか。
- 5) 幼児期の性教育について、保母はどのような意見を持っているか。

質問紙全体の構成を始め、資料収集の手続きについては既に詳述したので省略する。本報告に関する質問内容は次のとおりである。

「子どもが次のようなことをするのを見たことがありますか。あるものについて、そのときのようにすをお答え下さい。」

あげられている行動は次の6項目である。

- ①自分の性器をいじる
- ②性器を人に見せる
- ③トイレをのぞく
- ④「ウンチ」「オチンコ」などのことばを言いまわって面白がる
- ⑤(保母の)体(胸など)にさわりたいがる
- ⑥スカートめくりなどで遊ぶ
- ⑦その他

見たことのある行動については、子どもの性別(男児のみについてか、女児のみについてか、あるいは男・女

児両方について観察されたのか)、どんな場面やか、それに対してどのような対応をしたか、それぞれ回答を求めた。前報と同様、回答の対象となったのは、「現在(あるいは昨年度)の担当クラスの子どもたち」である。

また、幼児期から青年期までの性教育の内容として考えられる21項目について、

A. いつ頃までに(時期)

B. だれが(担当者)

教えるのがよいと思うか、A、Bそれぞれに選択肢を設け、「男の子の場合」「女の子の場合」に分けて回答を求めた。

## §. 2. 結果および考察

### 1. 各行動の特徴(観察経験率・場面・対応と発達の差異・性差)

10～12カ月の保育期間に、保母はどの程度幼児の性的行動を経験するのか、昨年度(第1次調査分)あるいは今年度(第2次調査分)の担当クラスの子どもたちについて、各行動を見た経験のある保母の割合(観察経験率)を表1に示した。自分のクラスの子どもについて、6項目の行動のうち少なくとも

表1 幼児の性的行動についての保母の観察経験率(%)

| 担当<br>年齢別 | 性・別 | 行 動             |                   |                  |                          |                   |                        | 回答者数 |
|-----------|-----|-----------------|-------------------|------------------|--------------------------|-------------------|------------------------|------|
|           |     | ①<br>性器をい<br>じる | ②<br>性器を人<br>に見せる | ③<br>トイレを<br>のぞく | ④<br>「ウンチ」<br>など言い<br>回る | ⑤<br>体にさわ<br>りたがる | ⑥<br>スカート<br>めくりな<br>ど |      |
| 0～2歳児     | 男   | 30.4(14)        | 21.7(10)          | 19.6(9)          | 13.0(6)                  | 10.9(5)           | 6.5(3)                 | (46) |
|           | 両   | 39.1(18)        | (0)               | 10.9(5)          | 32.6(15)                 | 23.9(11)          | 2.2(1)                 |      |
|           | 女   | 2.2(1)          | 2.2(1)            | (0)              | (0)                      | 2.2(1)            | (0)                    |      |
| 計         |     | 71.7            | 23.9              | 30.4             | 45.7                     | 37.0              | 8.7                    |      |
| 3歳児       | 男   | 28.1(9)         | 62.5(20)          | 34.4(11)         | 31.3(10)                 | 15.6(5)           | 18.8(6)                | (32) |
|           | 両   | 28.1(9)         | 3.1(1)            | 18.8(6)          | 40.6(13)                 | 18.8(6)           | (0)                    |      |
|           | 女   | 28.1(9)         | (0)               | (0)              | (0)                      | (0)               | (0)                    |      |
| 計         |     | 84.4            | 65.6              | 53.1             | 71.9                     | 34.4              | 18.8                   |      |
| 4歳児       | 男   | 29.7(11)        | 43.2(16)          | 32.4(12)         | 45.9(17)                 | 29.7(11)          | 56.8(21)               | (37) |
|           | 両   | 24.3(9)         | 10.8(4)           | 21.6(8)          | 29.7(11)                 | 16.2(6)           | 2.7(1)                 |      |
|           | 女   | 24.3(9)         | (0)               | 2.7(1)           | (0)                      | 5.4(2)            | (0)                    |      |
| 計         |     | 78.4            | 54.1              | 56.8             | 75.7                     | 51.4              | 59.5                   |      |
| 5歳児       | 男   | 24.4(10)        | 36.6(15)          | 41.5(17)         | 41.5(17)                 | 19.5(8)           | 41.5(17)               | (41) |
|           | 両   | 39.0(16)        | 12.2(5)           | 19.5(8)          | 29.3(12)                 | 14.6(6)           | (0)                    |      |
|           | 女   | 17.1(7)         | (0)               | (0)              | 2.4(1)                   | 2.4(1)            | (0)                    |      |
| 計         |     | 80.5            | 48.8              | 61.0             | 73.2                     | 36.6              | 41.5                   |      |

( ) 内の数字は実数を示す。

\* 男：当該項目の行動の観察は男児のみについて  
両：       "       "       男・女児両方について  
女：       "       "       女児のみについて

1つを経験したことのある保母は、0～2歳児担当者で84.8%、3歳児担当者で100%、4歳児担当者97.3%、5歳児担当者97.6%であった。表1においても、全般的に3歳児担当者で観察経験率が急増している。各行動とも4つの年齢級を通じての最大の

観察経験率は50%を越えており、保育現場でかなり一般的に観察される現象であると言えよう。表2は、行動が観察された時の保母の対応を示す。年齢級と性を含めて各行動を比較すると、次のような特徴が指摘できる結果であった。

表2 各行動に対する保母の対応

| 行動 |                                                                          | 担当年齢級                               | 0～2 | 3  | 4  | 5  | 全 体        |
|----|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-----|----|----|----|------------|
| ①  | 性器をいじる                                                                   |                                     | 33* | 27 | 29 | 23 | 112(100.0) |
|    | 困ったか何も言わない                                                               |                                     | 0   | 0  | 1  | 1  | 2 (1.8)    |
|    | あまり気にせずそのままにしておく                                                         |                                     | 2   | 0  | 1  | 3  | 6 (5.4)    |
|    | 注意を他に向ける（遊びに誘う、お話を聞かせる、添寝するなど）                                           |                                     | 3   | 7  | 6  | 3  | 19 (17.0)  |
|    | 理由を説明せず禁止（さわっちゃだめ、パンツから手を出して、上を向いて寝なさい）                                  |                                     | 4   | 4  | 6  | 6  | 20 (17.9)  |
|    | 理由を説明して注意                                                                |                                     | 22  | 16 | 14 | 16 | 68 (60.7)  |
|    | 内 訳                                                                      | ・きたないからさわっちゃだめ、手がきたなくなる、くさくなる       | 8   | 0  | 0  | 2  | 10 (8.9)   |
|    |                                                                          | ・バイキンが入って痛くなる、病気になる、オシッコが出なくなる      | 13  | 13 | 6  | 8  | 40 (35.7)  |
|    |                                                                          | ・大切な所だからいじらない、大事な所で病気になったら困る        | 1   | 3  | 8  | 5  | 17 (15.2)  |
|    |                                                                          | ・その他（ほんやりして人の話が聞けないと学校へ行って困る）       | 0   | 0  | 0  | 1  | 1 (0.9)    |
|    | その他（呼びかける、「かゆいの?」、「どうしたの、虫がいるの?」など）                                      |                                     | 2   | 0  | 0  | 3  | 3 (2.7)    |
| ②  | 性器を見せる                                                                   |                                     | 11* | 21 | 20 | 20 | 72(100.0)  |
|    | あまり気にせずそのままにしておく                                                         |                                     | 2   | 3  | 0  | 0  | 5 (6.9)    |
|    | 理由を説明せず禁止（しまっておきなさい、よしなさい、だめよ、何をしているの?）                                  |                                     | 1   | 4  | 5  | 2  | 12 (16.7)  |
|    | 不合理な説明によるおどし（虫が入る、神様が取りにくる、切っちゃう、先生がもらう、くさってしまうなど）                       |                                     | 1   | 2  | 2  | 0  | 5 (6.9)    |
|    | 理由を説明して注意                                                                |                                     | 6   | 9  | 13 | 15 | 43 (59.7)  |
|    | 内 訳                                                                      | ・かぜを引くから                            | 1   | 2  | 0  | 1  | 4 (5.6)    |
|    |                                                                          | ・恥ずかしいこと                            | 1   | 3  | 1  | 2  | 7 (9.7)    |
|    |                                                                          | ・人に見せるものではない、大事な所だからしまっておく          | 4   | 4  | 10 | 11 | 29 (40.3)  |
|    |                                                                          | ・傷つきやすい所、清潔にすべき所、なぜパンツをはくか説明        | 0   | 0  | 2  | 1  | 3 (4.2)    |
|    | 内 訳                                                                      | ・その他（裸になるのはお風呂の時）                   | 0   | 0  | 0  | 1  | 1 (1.4)    |
|    |                                                                          | その他（もっと見せてあげて、ちっとも珍しくない）            | 1   | 0  | 0  | 1  | 2 (2.8)    |
| ③  | トイレをのぞく                                                                  |                                     | 14* | 17 | 21 | 25 | 77(100.0)  |
|    | あまり気にせずそのままにしておく                                                         |                                     | 3   | 2  | 1  | 1  | 7 (9.1)    |
|    | 理由を説明せず禁止（やめなさい、だめよ）                                                     |                                     | 2   | 5  | 0  | 11 | 18 (23.4)  |
|    | 間接的注意（そんな所にいるとくさくなる、お友だちが出てから入ろう、男の子はウンチの時だけ入るのよ、自分の用をすませなさい、用がない人は行かない） |                                     | 0   | 4  | 3  | 1  | 8 (10.4)   |
|    | 理用を説明して注意                                                                |                                     | 7   | 6  | 5  | 11 | 39 (50.6)  |
|    | 内 訳                                                                      | ・のぞくものではない、友だちが入っている時はドアをあけない、ノックする | 1   | 4  | 7  | 1  | 13 (16.9)  |
|    |                                                                          | ・落ちついてオシッコできない、友だちが恥ずかしいがる、自分もされたいや | 6   | 2  | 8  | 10 | 26 (33.8)  |
|    | その他（〇〇君はエッチ、からかう）                                                        |                                     | 2   | 0  | 1  | 1  | 4 (5.2)    |
|    |                                                                          |                                     |     |    |    |    |            |

|                                                   |                                                                                                  |     |    |    |    |            |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|----|----|------------|
| ④ 「ウンチ」「オチンコ」などのことば                               |                                                                                                  | 21* | 23 | 28 | 30 | 102(100.0) |
| 内<br>訳                                            | 困ったが何も言わない                                                                                       | 1   | 1  | 1  | 0  | 3 (2.9)    |
|                                                   | あまり気にせずそのままにしておく                                                                                 | 5   | 5  | 8  | 7  | 20 (19.6)  |
|                                                   | 注意を他に向ける                                                                                         | 1   | 1  | 1  | 1  | 4 (3.9)    |
|                                                   | 不合理なおとし(口が曲がる、トイレの虫になる)                                                                          | 0   | 1  | 1  | 0  | 2 (2.0)    |
|                                                   | 理由を説明して注意                                                                                        | 8   | 14 | 10 | 16 | 48 (47.1)  |
|                                                   | ・そんな事は言うものでない                                                                                    | 7   | 8  | 6  | 10 | 31 (30.4)  |
|                                                   | ・きたない(くさい)事は言わない                                                                                 | 0   | 5  | 4  | 4  | 13 (12.7)  |
|                                                   | ・自分が言われたらいやでしょう？                                                                                 | 0   | 1  | 0  | 2  | 3 (2.9)    |
|                                                   | ・その他(食べる時は楽しい話を)                                                                                 | 1   | 0  | 0  | 0  | 1 (1.0)    |
| 子どもに問い返す(言ってもいいことか、ウンチ・オチンコって何？)、その後、説明、話し合いなどの指導 |                                                                                                  | 1   | 1  | 2  | 4  | 8 (7.8)    |
| その他(赤ちゃんみたい、カッコ悪い、○○君エッチね、など軽く応ずる)                |                                                                                                  | 3   | 0  | 4  | 1  | 8 (7.8)    |
| ⑤ 体にさわりたいがる                                       |                                                                                                  | 17* | 11 | 19 | 15 | 62(100.0)  |
| 内<br>訳                                            | 困ったが何も言わない                                                                                       | 1   | 0  | 0  | 0  | 1 (1.6)    |
|                                                   | あまり気にせずそのままにしておく                                                                                 | 5   | 3  | 6  | 0  | 14 (22.6)  |
|                                                   | 軽く注意・自然に手をどかす                                                                                    | 1   | 2  | 1  | 2  | 9 (14.5)   |
|                                                   | 理由を説明して注意                                                                                        | 0   | 2  | 3  | 4  | 9 (14.5)   |
|                                                   | ・恥ずかしい、くすぐったいからやめて、人のいやがることはやめよう                                                                 | 0   | 2  | 1  | 3  | 6 (9.7)    |
|                                                   | ・いけないこと                                                                                          | 0   | 0  | 2  | 1  | 3 (4.8)    |
|                                                   | ふざけ返す、一緒にふざけて遊ぶ                                                                                  | 5   | 1  | 0  | 1  | 7 (11.3)   |
|                                                   | スキンシップをはかる(だっこしてあげる、抱きしめる)                                                                       | 0   | 2  | 4  | 3  | 9 (14.5)   |
|                                                   | その他(お母さん・○○ちゃんにもオッパイあるでしょ？、赤ちゃんになりたい？、エッチね、お母さんに甘えておいで、オッパイのませてあげよう、まだお母さんのオッパイさわっているんでしょ？)      | 5   | 0  | 4  | 4  | 13 (21.0)  |
| ⑥ スカートめくりなどで遊ぶ                                    |                                                                                                  | 4*  | 6  | 22 | 17 | 49(100.0)  |
|                                                   | あまり気にせずそのままにしておく                                                                                 | 2   | 1  | 2  | 5  | 10 (20.4)  |
|                                                   | 禁止する(やめなさい、いけないこと)                                                                               | 0   | 2  | 4  | 3  | 9 (18.4)   |
|                                                   | 理由を説明して注意(人のいやがることはしない、自分がされたらどんなか)                                                              | 2   | 0  | 9  | 6  | 15 (30.6)  |
|                                                   | その他(お友だちのスカートめくってうれしい？、何が見えるの？、女の子になってスカートはけばいい、自分のパンツを見なさい、次にしたらズボンをおろすよ、した子のズボンをさげ「どう、おもしろい？」) | 0   | 3  | 5  | 3  | 11 (22.4)  |

※ 数字は実数、( ) 内は百分率を示す。\*印の行の数字は各行動を観察した保母数を示す。

### ①性器をいじる

3歳児での観察が最も多いが、比較的年齢差は少なく、各行動の中で最も観察経験率が高い。0～2歳児では女児に観察される率は非常に少ないが、3歳児以上では性差はあまり見られず、特に5歳児では男・女児両方について観察した保母が約4割と最も多くなっている。

観察された場面は年齢による差がみられ、0～2歳児では排泄時が最も多いが(63.6%)、3歳児以上は午睡時が多く(63.6～70.4%)、さらに4歳児以上では遊

び時間の割合が高くなっており(表3-1)、特に「遊びに入れず一人にいる時」、「テレビ視聴・保母の話などに集中できないでいる時」が多かった。「性器をいじる」行動の心理的意味として、乳児期から一般に見られる身体への探索行動に、いわゆる「自慰」が加わってくることを推測させるが、回答者の具体的記述からもこれが裏付けられる。

〔事例1 1歳児クラス、男児〕 オマールに座りながら  
→「おててがきたなくなる」と言って叱った。

〔事例2 0～1歳児クラス、男・女児〕 トイレを済ませてから不思議そうにいじっていた。→あまり気にせずそのままにしておいた。

〔事例3 3歳児クラス、女児〕 午睡中眠れなくて→そばについてやり寝かしつけながら行為を止めさせた。

〔事例4 4歳児クラス、男・女児〕 話を聞きながら・ぼんやりした様子で→名前をそっと呼んで手ははずさした。大切な機械のあるところなので、汚い手でいじってはいけないことを教えた。

〔事例5 4歳児クラス、女児〕 一人でぼんやりしている時、机の隅に性器をあて上下していた。→「おしっこする所だから大事にしないと後でおしっこが出なくなるよ」

表3-1 「性器いじり」の観察された場面

| 場面 \ 担当年齢級          | 0～2 | 3  | 4  | 5  |
|---------------------|-----|----|----|----|
| 排泄時                 | 21  | 4  | 0  | 0  |
| 午睡時                 | 11  | 19 | 20 | 21 |
| 遊び時間                | 5   | 6  | 10 | 12 |
| 着替えの時<br>(プール・身体測定) | 1   | 1  | 3  | 0  |
| 観察した保母数             | 33  | 27 | 29 | 33 |

(重複回答を含む)

この行動に対しては、「気にせずそのまま」という対応は非常に少なく、その場で何らかの働きかけがなされている。調査時に、昨年度あるいは今年度以外の担当クラスで経験して「印象深かった」事例の記述も求めたが、これに回答した40名のうち、26名は性器いじり・自慰についてのものであった(事例6～8など)。これは他の行動に比べ特にタブー性が強いためと見ることもできよう。

〔事例6〕 指しゃぶりを注意し止めたら、午睡時布団の中で自慰をするようになった。

〔事例7 女児〕 床にはいつくばり性器を床にこすりつける動作をする。→親と相談しながら、あまり無理せずスキンシップを大切にしながら保育する。数カ月で直る。

〔事例8 5歳、男児〕 机や床に身体をこすりつけて顔を真っ赤にしながらオナニーをしていた。→見てびっくりし、困ってしまった。

6割の保母が理由を説明して注意を与えているが、説明の内容には年齢による差がみられる。0～2歳児に対しては「手がきたなくなる」が他の年齢よりも多いが、この年齢では排泄時の行為が多いことも関連していると思われる(この対応をした8例のうち、5例は排泄時のものであった)。「バイキンが入って痛くなる・病気になる」などの説明が3歳児までは最も多いが、4、5歳児になるとさらに「大切な(大事な)所だから」という説明を加えた対応が増える。また、遊びに誘うなどして子どもの注意を他に向けるという対応が、他の行動の場合よりも多くみられた。

## ②性器を人に見せる

3歳で急増し、以後漸減する。女児にもみられるが男児での観察がほとんどである。場面を見ると、排泄や午睡、身体測定など脱衣に伴って誘発されたと思われる例が多いが、4～5歳児では遊びの場面の比率も高く、明確な意図を持つての行動と推測できる(表3-2)。「性器をいじる」行動と同様、「気にせずそのまま」という対応は非常に少なく(4～5歳児ではみられない)、「理由を説明しての注意」が最も多くなっている。4～5歳児に対しては、保母の半数が「(大事な所だから)人に見せるものではない」という説明を与えており、下の例のようにさらに詳しい説明をしたものもあった。

〔事例9 1～2歳児クラス、男児〕 午睡時布団の上でふざけながら友達同士で見せ歩いている。→初め数回はそれほど気に止めなかったが、度を越しふざけ歩いているためみんなの前で並んでよく見せてやるよう促し、様子を見ながら、大切な所で人に見せるものでないこと、オモチャ的に扱ってはいけない事を知らせた。

〔事例10 4歳児クラス、男・女児一緒に〕 室内遊び中、お医者さんごっこと言って→目・耳・おへそなどと同じに傷つきやすい事を知らせて止めさせた。

〔事例11 5歳児クラス、男・女児一緒に〕 室内で保育者がいない時に見せ合う。→男・女の違いを話し、大切に清潔にしなければいけないと言った。また、動物と人間の違いについても関心を持たせ、なぜパンツをはくかを理解させた。

表3-2 「性器を見せる」行動の観察された場面

| 場面 \ 担当年齢級             | 0～2 | 3  | 4  | 5  |
|------------------------|-----|----|----|----|
| 排泄時                    | 3   | 7  | 4  | 2  |
| 着替えの時(午睡、<br>プール、身体測定) | 3   | 9  | 4  | 9  |
| 遊び時間                   | 5   | 6  | 11 | 8  |
| 観察した保母数                | 11  | 21 | 20 | 20 |

(重複回答を含む)

### ③ トイレをのぞく

0～2歳児担当者でも3割が経験しており、3～5歳児では5～6割で年齢差はあまりない。女兒のみにについての観察はほとんどない。集団でトイレに行った時、順番を待っている時など排泄時の観察が8割だが、「遊びの時間にふざけて」という場合もあり、特に3歳児でこの場面が多い。

「気にせずそのまま」という対応は0～2歳児に対しては約2割あるが、年長児には非常に少ない。礼儀・約束事として、あるいは共感性に訴えての説明・注意を与えた保育者が半数で最も多い。この対応は4歳児に対して最多であり、5歳児に対しては特に理由を説明しない注意・禁止が他の年齢より多くなっている。これは、5歳児ではこの行為が非難されることが既に理解された上での事であると、保育者が認識しているためであろうか。

〔事例12 1～2歳児クラス、男児〕 女兒が排泄中ドアを開けてのぞく。→「のぞかれると恥ずかしいから見ちゃだめよ」

〔事例13 3歳児クラス、男児〕 数人で女兒の方をのぞく。→「友達がお便所へ入ってる時はドアを開けるんじゃないよ」

### ④ 「ウンチ」「オチンコ」などのことばを言いまわって面白がる

0～2歳児でも5割近くの保育者が観察しており、どの年齢級でも性器いじりに次いで観察経験率が高く、3歳児以上では年齢差はみられない。女兒のみの観察はほとんどないが、他の行動に比べ男・女児両方について観察される率が高い。ただし、4歳児以降では男児のみにについての観察が多くなってくる。観察される場面は、「おやつ・食事中」に特定される(21.3%)ものよりも、「子ども同士の会話の中で」「替え歌として」「けんかした時の相手への攻撃のことばとして」など、遊びの時間にみられたものが73.5%と多い。

最も多い対応は理由を説明しての注意だが、共感性に訴える説明より、「そんな事を言うものではない」というように約束事であることを示すものが多く、また①～③の行動に比べると、「気にせずそのままにしておく」保育者が多い。①～③の行動と異なり、「遊び」という要素が保育者に強く意識されているとも考えられる。さらに、子どもに問い返すことを通じて指導した例がいくつか見られたことも、この行動の特徴であった。

〔事例14 1～2歳児クラス、男・女児〕 一人が言うとおみんなおもしろがって言い出す。→「ウンチが好きな

ら、お便所で遊んでね、くさい、くさい」などと言いながら、あまり強制的なことはしなかった。

〔事例15 3歳児クラス、男・女児〕 遊んでいて「○○ちゃんのウンチ、オチンチ」などと言う。→そんなことを自分が言われたら嬉しいかどうか問いかけた。

〔事例16 3歳児クラス、男・女児〕 自由遊びの時→ウンチ、オチンコについて知っていることをみんなに話させた。その後あまり言わなくなった。

〔事例17 5歳児クラス、男児〕 食事の後トイレに行ってから→健康で生活するためには、ウンチも出なければ困るし、オチンコもなければオシッコもできないこと、食べたり寝たりすることと同じであることをわかるように話した。食べ物、おいしいおかずや好きなものを想像できるが、ウンチはおいしく食べたもののカスだから想像しただけで臭くなること、きれいなものを想像できる言葉を使うように話す。

### ⑤ 体にさわりたいがる

4歳児担当者の観察経験率が最も多く(約5割)、他の年齢級は3割台であり差はない。これも女兒のみにについての観察は少ない。④と同様、「気にせずそのまま」という対応が①～③に比べ多い(4歳児では約3割)。さらに、注意あるいは「手をどかす」など、禁止の方向を示す対応も3割で著しく少ない(他の行動では8～9割)。場面が特定できる場合は少なく、回答者の記述を見ると、場面よりは「遊び・ふざけて」あるいは「甘えて・だっこしている時」というように、むしろ子どもの動機の違いの方が意識されているようであった。

0～2歳児への対応では、「困った」り注意をしたりはほとんど無く、子どもが「おもしろがって」の場合でも「一緒にふざける」例、「気にせずそのまま」「お母さんみたい？」など、受容的対応が非常に多い。この年齢級では、保育はこの行動を年齢相応の甘え、あるいは遊びとして許容すべきものと見なしていることが、回答からもうかがえる。

〔事例18 1歳児クラス、男・女児〕 自由遊びの時など、1歳児らしくまだオッパイが恋しい感じで→膝に乗せていたので一緒になつてくすぐって遊んだ。

〔事例19 0～2歳児クラス、男・女児〕 夏期、保育者の胸が目だったようで、「オッパイ、オッパイ」とニコニコしながらさわりたいがる。→むげにダメとせず、(こどもの様子が)自然な時はほほえみながら「そうね」と行っ

た。(時には)「エッチ!」「みんなにもオッパイあるんだよね」などと明るく話した。

年長の幼児に関しては、いわゆるスキンシップの不足による行動という認識がされている場合には、積極的に身体的接触を図る対応が多い。反対に、「ふざけて」の場合には、注意や「手をどかす」例も多く、特に5歳児では約4割見られる。さらに事例23のように、年齢不相応であることを「からかい」によって伝えようとする例も比較的多くみられる。年少の幼児と異なり、何らかの「指導」をすべき行動と捉えられているようである。

〔事例20 4歳児クラス、男児〕 保育者の傍に来ておずおず→愛情不足と思われるので、叱ったり大げさに騒いだりせず、さりげなくそっとしてあまり取り上げないようにした。

〔事例21 4歳児クラス、男・女児〕 甘えたい時→さわらせてあげる。お母さんの事、赤ちゃんの頃の事を話してやる。

〔事例22 4歳児クラス、男児〕 遊んでいる時、「ドリフターズのまね」と言って笑いながら→軽く「してはいけない」と言った。

〔事例23 5歳児クラス、男児〕 保母のオッパイにさわり大喜びする→「先生のオッパイを飲ませてあげるね」と言うと、あわてて逃げる。

〔事例24 5歳児クラス、男・女児〕 欲求不満のため→保母も子どもの体にさわり、しばらく遊ぶ。

〔事例25 5歳児クラス、男・女児〕 一日一緒にいるのでいつと言うことなく→あまり執拗にさわるときは、さわられる人も迷惑であることを話す。

## ⑥ スカートめくりなどで遊ぶ

3歳児での観察は2割に満たず、4歳児で急増し最大となっている。④、⑤と同様に「気にせずそのまま」という対応が、①～③の行動よりも多い。理由を説明しての注意は約3割と、①～④への対応より少なくなっている。そのほとんどは共感性に訴えたものであるが、さらに直接体験させようとした例も2件あった。

〔事例26 3歳児クラス、男児〕 スカートめくりした男児のズボンを下げ、「どう、おもしろい?」と聞くと嫌がりしなくなった。

〔事例27 4歳児クラス、男・女児〕 女児もおもしろがることがあるので、両方を注意。

〔事例28 4歳児クラス、男児〕 良いことか、悪いことか、全員で話し合わせた。

〔事例29 4歳児クラス、男児〕 女の子が男の子のズボンを下げてパンツを見ようとしたら、どんな気持ちか考えさせた。

〔事例30 4歳児クラス、男児〕 人がすると、それにつられておもしろ半分にすることがある。→友達がいやがることはしないように注意する。

〔事例31 5歳児クラス、男児〕 楽しそうに遊んでいたの、たいして気にしない。

## ⑥ その他の行動

以上の6項目以外に自由記述によって報告された行動には次のようなものがあった。

〔事例32 1～2歳児クラス、女児〕 男児が排泄しているのを見て、男児用便器をどうしても使用すると言い出す。→一度使用させ、うまくいかないことを経験させ、「次からこっちでしょうね」と話す。

〔事例33 2歳児クラス、女児〕 午睡の時など自分のおへそを引っ張り出していじっている。「おへそひっぱっちゃだめよ、しまっとうね」と注意。

〔事例34 3歳児クラス、女児〕 一つの便所に3人が入り、かわりばんこに排泄している。→一人で入りなさい。

〔事例35 5歳児クラス、女児〕 服の中にボールを入れ、おなかが大きくなったと喜んで遊ぶ。→子どもたちに、みんなはお母さんのおなかについて、外に出られるようになると出てきたことを話した。

## 2. 幼児期の性教育についての保母の意見

回答を求めた21項目のうち、本報告と関連の深い6項目についての意見を表4に示した。各項目とも、子どもの性による意見の違いはあまり見られず、これらの項目に関する教育の時期および担当者に限っては、女児も男児もほぼ同様に考えられていると言ってよい。

「わざわざ教える必要なし」という意見が最も多かつ

表4 性教育についての保母の意見

| 時期<br>担当者                              | 事項<br>子どもの性別 | a. 人前で性器をいじったり見せたりしない |      | b. 性器を不潔にしておかない |      | c. 人のトイレをのぞかない |      | d. スカートめくりなどいやがることはしない |      | e. 男の子と女の子の性器の違い |      | f. 赤ちゃんはどのようにして生れてくるか |      |
|----------------------------------------|--------------|-----------------------|------|-----------------|------|----------------|------|------------------------|------|------------------|------|-----------------------|------|
|                                        |              | 男                     | 女    | 男               | 女    | 男              | 女    | 男                      | 女    | 男                | 女    | 男                     | 女    |
| A. いつ頃                                 |              |                       |      |                 |      |                |      |                        |      |                  |      |                       |      |
| わざわざ教える必要なし<br>きかれた時・子どもがそ<br>うするのを見た時 |              | 3.2                   | 3.2  | 0.6             | 0.6  | 3.8            | 3.8  | 5.8                    | 5.8  | 16.0             | 15.4 | 8.3                   | 8.3  |
| 3 歳 ま で に                              |              | 40.4                  | 39.7 | 5.5             | 4.5  | 35.9           | 35.3 | 25.0                   | 23.1 | 28.2             | 28.2 | 25.6                  | 25.6 |
| 3 ～ 6 歳                                |              | 17.3                  | 17.9 | 33.5            | 36.5 | 14.1           | 14.1 | 0.6                    | 0.6  | 5.1              | 5.1  | —                     | —    |
| 小学校低学年                                 |              | 26.9                  | 26.3 | 37.9            | 35.9 | 29.5           | 28.9 | 39.1                   | 37.2 | 19.9             | 19.9 | 3.2                   | 3.8  |
| " 高 学 年                                |              | 0.6                   | 0.6  | 3.8             | 4.5  | 4.5            | 4.5  | 13.5                   | 13.5 | 9.6              | 9.6  | 8.3                   | 7.7  |
| 中 学 時 代                                |              | —                     | —    | 3.8             | 3.2  | —              | —    | 0.6                    | 0.6  | 6.4              | 7.1  | 18.6                  | 24.4 |
| 高 校 時 代                                |              | —                     | —    | —               | —    | —              | —    | —                      | —    | 0.6              | —    | 16.7                  | 12.2 |
| 無 回 答                                  |              | —                     | —    | —               | —    | —              | —    | —                      | —    | —                | —    | 3.8                   | 3.8  |
|                                        |              | 11.5                  | 12.2 | 14.7            | 14.7 | 12.2           | 13.5 | 15.4                   | 19.2 | 14.1             | 14.7 | 15.4                  | 14.7 |
| B. 誰が教えるべきか                            |              |                       |      |                 |      |                |      |                        |      |                  |      |                       |      |
| 自然にわかる                                 |              | 10.3                  | 10.3 | 0.6             | 0.6  | 14.1           | 13.5 | 13.5                   | 13.5 | 28.2             | 28.2 | 9.6                   | 9.6  |
| 母 親                                    |              | 28.9                  | 32.1 | 48.1            | 52.6 | 19.9           | 20.5 | 14.7                   | 12.8 | 13.5             | 19.9 | 28.2                  | 32.1 |
| 父 親                                    |              | 3.2                   | 1.3  | 4.5             | —    | 1.3            | 0.6  | 0.6                    | —    | 9.0              | 3.2  | 1.9                   | —    |
| 両親でともに                                 |              | 33.3                  | 32.1 | 28.2            | 28.2 | 25.6           | 25.0 | 14.1                   | 14.1 | 24.4             | 24.4 | 22.4                  | 21.8 |
| 保育者や教師                                 |              | 22.4                  | 22.4 | 10.3            | 10.3 | 35.9           | 35.9 | 45.5                   | 44.9 | 12.8             | 12.8 | 18.6                  | 19.2 |
| その他                                    |              | 2.6                   | 2.6  | 0.6             | 0.6  | 1.9            | 1.9  | 3.2                    | 3.2  | 1.3              | 2.6  | 2.6                   | 2.6  |
| 無 回 答                                  |              | 14.7                  | 14.7 | 14.7            | 14.7 | 13.5           | 14.7 | 18.6                   | 19.2 | 16.0             | 16.0 | 22.4                  | 21.2 |

数字は回答者数156(名)に対する百分率(複数回答を含む)

たのは、男・女児の性器の違い(e)についてであり、逆に明確に教育あるいは指導の対象とすべき内容と捉えられていたのは、性器の清潔保持に関してであった。この項目はまた「3歳までに」が他の項目より多く、比較的低年齢で学習させるべきと考えられているようである。「人前で性器をいじったり見せたりしない(a)」「人のトイレをのぞかない(c)」の2項目は、時期についての意見が類似しており、「子どもがそうするのを見た時」がもっとも多く、次いで「3～6歳」となり、就学後は非常に少ない。「スカートめくりなど人のいやがることはしない(d)」は、「0～2歳」はほとんど無くて「3～6歳」が最も多く、「小学校低学年」がa～cよりは多くなっている。「赤ちゃんはどのようにして生まれてくるか(f)」については「小学校高学年」「中学時代」が多く、教育の適時が他の項目より高い年齢で考えられている。

「自然にわかる」が最も多かったのは性器の違いであり、これは「教える必要無し」が多かったことに対応していると考えられる。全般に父親を担当者とする意見は非常に少ない。その中では、性器の違いを男児に対して教える担当者という場合が最も多いが、1割に満たない。母親を担当者とする意見が最も多かった項目は性器の清潔保持(b)、次いで「人前で……(a)」、「赤ちゃん……(f)」であった。「両親とともに」という意見を含め、親を担当者とする意見の方が保育者・教師を担当者とするものよりも多い。「スカートめくり……

(d)」「人のトイレ……(c)」は比較的保育者・教師とする意見が多く、特に前者については親という意見を上回っている。以上、子どもの性教育についての保母の意見には以下のような傾向が見られる。

- 1) 男女児の性器の違いについては、自然にわかるので、わざわざ教える必要はない。
- 2) 「トイレのぞき」「スカートめくり」など集団生活の場面で多くみられる行動については、保育者・教師も担当者と考えられるが、全体的には家庭教育の領域であり、両親でともに関わるか、あるいは母親の責任である。
- 3) 性器の清潔保持は、特に母親が責任を持って比較的早くから意図的に教育すべきである。
- 4) 「性器いじり」「性器の露出」「トイレのぞき」は、子どもがそうするのを見た時に、前二者は主として親が、後者は保育者や教師も指導すべきである。
- 5) 「誕生の仕組み」は比較的年齢が高くなってから、主として親が教えるべきである。

### §. 3. 討 論

#### 1. 幼児の性的行動と性差・発達の差異

前述の保育雑誌の「性的問題への対処法」と題した記事にも、本研究で調査項目として選択した6項目の行動が取り上げられている\*。この事は、これらの行動が保育

現場において、事例数の多少はともかく一般的に見られる行動であり、かつ「対処すべき問題」と見なされていることを傍証するものであろう。今回の結果にみられる保母の観察経験率の高さは、この事に資料による根拠を与えたと考える。

発達の差異については、次のようなことが指摘できよう。第一点は、各行動に急増する年齢やピークがあるなど、発達の消長がみられ、その様態がそれぞれ異なることである。全般に、他者関係を含んでの顕在的性的行動（項目②～⑥）は、3歳以後活発化する傾向が見られる。これらの行動の発現を年齢軸上に位置づけるとすれば、「性器をいじる」「ウンチ・オチンコなどのことばを言いまわって面白い」「（保母の）体にさわりたいがる」「トイレをのぞく」「性器を人に見せる」「スカートめくりなどで遊ぶ」の順になることが、観察経験率から推測される。ただし、これには次の第二点が考慮されるべきであろう。すなわち、同一の行動として報告された行動の心理的意味が、発達の異なる場合があるということである。特に、「性器をいじる」「トイレをのぞく」「体にさわりたいがる」について、この傾向が顕著である。これらの行動は、乳児期および幼児期前期には探索欲求あるいは接触欲求に基づく行動と見なせるが、幼児期後期になると狭い意味での性的な要素が含まれてくると推測される。

前報で報告したように、保母に対する質問の内容には性差がみられたが、保母によって観察された性的行動についても顕著な性差が指摘できる。どの行動についても「女児のみ」の観察は非常に少なく、3歳児クラス以上で性的行動の観察率が全般に急増するに伴って、この性差は一層顕著になる。唯一この傾向と異なるのは「性器をいじる」行動であり、3歳児以降は男・女児ほぼ同様の観察率となっている。この事は既に指摘したように、この行動の心理的意味が3歳前後で探索から「自慰」へと変化して行くことに関連すると思われる。0～2歳児では「女児のみ」の観察はほとんど無く、自己の身体への探索行動としての性器いじりは男児に起こりやすいこと、しかし3歳児以上での「自慰」としての性器いじりは女児にも男児同様見られることが確認できよう（ただし、男児、女児各々の母集団について「自慰」を経験する幼児の割合は、本資料からは不明である）。性器の形態上の差異（男児の性器が注意を引きやすいこと）が、男・女児の性的行動の差異と関連することは、0～2歳児の「性器をいじる」「性器を人にみせる」行動の性差

からも推測できる。

このような生物学的性差が心理学的性差にどう影響するか、また、今回みられた性的行動上の明確な性差をどう説明するかは本報告の任ではないが、この視点から今回の資料を考察するにあたって留意すべき点を指摘しておきたい。一つは、保母と男児あるいは女児との関係である。例えば、「体にさわりたいがる」行動については、女性である保母が男児の行動の方を敏感に受け止め、女児の行動を男児ほど明確には認知せず、この事が観察経験率に影響する可能性がある。また、このような回答者の認知レベルの問題とは別に、異性であるが故に男児の保母に対する行動が実際に多いことも考えられる。「トイレをのぞく」行動についても同様に、男児の行動に保母が敏感になっている可能性も考慮すべきであるが、この行動については、トイレの構造の違い、つまり女児用にはドアがあり、女児の排泄の様子や性器は男児の目に触れにくいことも、性差を生じさせる要因となっていると思われる。

もう一つは、今回の結果より「セクシャリティ形成の初期の過程である幼児期において、女児は男児よりも顕在的な性的行動が少ない」という一般化をすることの可否である。本研究で取り上げた6項目の行動は、前述のようにいわゆる「問題」とされる行動、あるいは「指導」の対象と考えられている行動であり、この限りにおいての結論とするのが妥当であろう。幼児期のセクシャリティに関して、心理学的に意味のある行動の完全なリストを我々はまだ持っていないと考えるからである。「性」という概念そのものが変化しつつある今日、性役割行動等を含んだ広い意味での性に関する諸行動の全体像の中で、性差を考察することが必要であろう。

## 2. 保母の応対とセクシャリティ

全体的に、子どもの年齢によって異なる応対がされていると言える。これは、性に関する質問に対してあまり年齢による違いが見られなかったこととは対照的である。一つには、「性器をいじる」「トイレをのぞく」「体にさわりたいがる」などのように、行動の意味についての保母の認知が、子どもの年齢によって違う場合があるためであろう。

各行動について応対は微妙に異なるが、許容度という尺度によって6項目の行動を順序づけることができるように思われる。試みに、「あまり気にせずそのままにし

---

\*この記事の中では、その他に「玩具を性器に見立てて友達の間をひく子」「性被害にあった女の子」「友達の妹にいたずらした男の子」などがとりあげられている。

ておく」という対応（「体にさわりたいがる」については、「一緒にふざけて遊ぶ」「スキンシップを図る」を含める）の割合を、その行動に対する許容度とすると、次の3グループに分かれると言ってよい。許容度の最も高いのが「体にさわりたいがる」で、次いで「スカートめくりなどで遊ぶ」「ウンチ、オチンコなどのことば……」が第2グループとなり、「トイレをのぞく」「性器を人に見せる」「性器をいじる」は許容度の最も低い第3グループをなしている。

このような保母の対応の違いは、各行動が保母自身にとって、さらには社会的にどのような意味を持つかということを反映していると考えられる。「体にさわりたいがる」行動の許容度の高さには、乳幼児期の母子関係において身体的接触の重要性が言われていること（この事に関しては子どもの性別は問題とされない）、そして保母と子どもとの関係は母子関係がモデルであるという背景があろう。最も許容度の低いグループは、すべて性器に直接関わる行動である。許容度はタブー性（この場合は弱さ）の尺度でもある。性に関する質問の場合も同様だが、性についての意識・価値観を含む保母自身のセクシャリティが、幼児の性的行動に対する対応に影響すると考えることは不当ではないであろう。「性器をいじる」行動に対して、「きたないからさわっちゃだめ」という対応と、「大切なところだから、バイキンが入って病気になったら困る」という対応とに、類似した性意識を推測するのは難しい。

保母の側からすると、保育現場でこのような子どもの行動を経験することは、自己の性意識や価値観のいわば「スクリーン」を通して子どもの行動を認知する作業を与えられることであり、その度に自己の性意識が顕在化されることになる。本研究の質問紙に回答するという行為は、この内的過程を一層明確にしたと思われる。一般に、どのような目的の調査でも、質問に回答を求めることは、ある問題を回答者の前に提示し、その問題についての回答者の意識をあらためて自己に向かって顕在化させ、結果的にはそのチェックを迫ることと言えよう。本研究の場合も、自己のセクシャリティを顕在化・意識化せざるを得ない行為であったことが回答者の次のような、感想からうかがえた。

正直言ってこのアンケートを読み出し、非常に苦痛を感じました。とともに、子どもたちの性教育に対していかに無関心でいたか、自分を恥じる思いです。真剣に性について考えていき、幼いうちから少しずつ与えていかなければならないと思います。[S. 17年生まれ、保育経験13年、既婚]

このアンケートの質問は、読んでいくごとに困ってしまうことばかりでした。私たちは性にかかわって生きているにもかかわらず、真剣に性を考えることなんてほとんどないと思います。考えなくても何の影響もありませんから……。このような性の問題を考えたとき、いつも結局答を出さないで……。いつもうやむやにしていました。子どもたちとの生活の中で、性に関するものに対して、なんとなくごまかしているような自分を感じることがあります。[S. 33年生まれ、保育経験2年、未婚]

性に関することの大切なことは充分にわかっていますが、いつどのようにして子どもたち（園児・自分の子）に話してよいか、自分でも大変迷いますし、はずかしさもあり思うようにはいきません。[S. 16年生まれ、保育経験20年、既婚]

保母自身のセクシャリティ、さらに一般的に子どもに関わるおとなのセクシャリティと、子どもの性的言動への対応との関係を、性に関する意識・価値観あるいは文化の伝達の一つの重要な過程として考えるべきであろう。

〔付記〕お忙しい時間をぬって、回答しにくい未熟な質問紙に丁寧につき合い、貴重な御意見や感想をお寄せ下さった保育現場の方々に心から感謝いたします。

#### <引用文献>

- 1) Goldman, R. & Goldman, J. 1982 Children's Sexual Thinking, Routledge & Kegan Paul, London, Boston, Melbourne and Henley
- 2) 池田 政子 1983 性教育絵本の分析 (1) —研究の展望— 山梨県立女子短期大学紀要 16, 39-44
- 3) 池田 政子 1985 幼児の性・生・死に関する質問 (1) 父母に対して 山梨県立女子短期大学紀要 18, 23-36
- 4) 池田 政子 1986 幼児の性・生・死に関する質問 (2) 保母に対して 山梨県立女子短期大学紀要 19, 37-44
- 5) 北沢 杏子 1981 『実践レポート ひらかれた性教育 1 3歳から9歳まで』 アーニ出版
- 6) 日本母子衛生助成会 (編集) 1985 『家庭における子どもの性』 母子保健事業団
- 7) 新宿区教育委員会 1987 『性教育の指導の手びき』 (幼稚園編)
- 8) 新宿区教育委員会 1987 『性教育指導充実のための資料』
- 9) 東京都教育委員会 1987 『性教育の手引』 (第2集)

—幼稚園・小学校編』

号 1987年5月号 小学館

10) 『お誕生会と性の指導』別冊 幼児と保育 第118